

事例9 母乳育児推進連絡協議会を中心としたネットワークで広がる支援

市町村単位での取組から県全体の協議会の設立へ

母乳育児推進運動は、県の推奨とともに、昭和53年に高岡で母乳育児をすすめる会が発足したことに始まり、魚津市、小矢部市、福光町などにその運動が広がり、昭和58年に富山県西部母乳育児推進協議会が設立された。その間、県内各地域、各団体においても活発な活動が行われ、これに伴い運動の一元化についての意見も出始め、平成元年に富山県母乳育児推進連絡協議会が設立された。

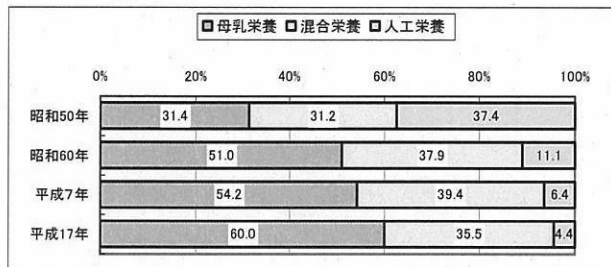
富山県母乳育児推進連絡協議会には、母乳育児を推進するために小児科医会、産婦人科医会、看護協会、助産師会、婦人会、経営者協会、青年団協議会、富山県母子保健推進員連絡協議会等の団体および市町村・県等が協力し、活動を推進している。さらに、平成17年までに県内の3つの医療機関が赤ちゃんに優しい病院（BFH）の認定を受け、また新たな支援団体も加入。ますます母乳育児のネットワークが広がりをみせている。

女性の就業率が高い中で、高い母乳栄養実践率

女性の就業率は51.5%で全国4位。しかも、20～50歳代の年齢層において、全国平均の就業率を上回っている。

そのような社会的背景にあっても、母乳育児普及啓発活動により、母乳栄養の割合は高い水準を保っている。平成17年には、母乳栄養の割合は、生後1か月で60.0%、3か月で54.3%に達した。

栄養方法の年次推移(生後1か月)

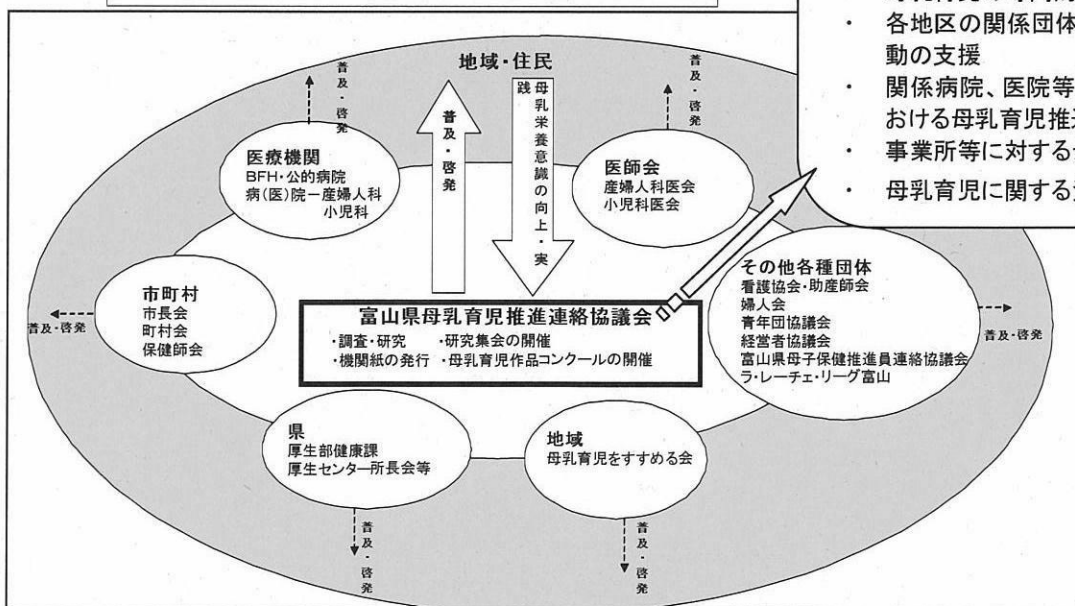


女性の就業率等

女性就業率	51.5%〈全国4位〉 (平成12年)
共働き率	58.3%〈全国3位〉 (平成12年)
女性労働者平均継続年数	11.1年〈全国3位〉 (平成15年)
3世代同居率	22.2%〈全国3位〉 (平成12年)

母乳育児推進連絡協議会の事業概要

- ・ 妊産婦に対する母乳育児の啓発・普及活動
- ・ 母乳育児の重要性に関する啓発のための大会や講演会の開催、作品コンクールの実施、パンフレットの発行
- ・ 母乳育児の専門的知識に関する研修
- ・ 各地区の関係団体等との情報交換の促進、活動の支援
- ・ 関係病院、医院等との連携による新生児期における母乳育児推進
- ・ 事業所等に対する母乳育児の重要性の啓発
- ・ 母乳育児に関する資料の収集、提供 等



富山県母乳育児推進のシンボルマーク

富山県母乳育児推進連絡協議会を中心とした関係機関による活動の推進

(事例提供：富山県)